

NITS/教職大学院等コラボ研修支援事業

地域協働型リーダー養成研修・アルムナイ フォローアップ研修

修了生！期生からⅦ期生までが、つながりました！！



< 講座の講師 >

齋藤嘉則 教授

東京学芸大学教職大学院
学長補佐・附属学校運営部長

石崎耕一郎 室長

愛媛県総合教育センター企画開発室

露口健司 教授

愛媛大学教職大学院専攻長

参加者の声

このような自主研修の場で、管理職の方の先生の参加がもっと増えるとういなおもいました。参加された先生方の意見、大変、勉強になりました。

教員免許更新制度の発展的解消を踏まえ、喫緊の課題である新しい研修システムについて、大変有意義な学びになりました。対話を通じた教職員の職能開発と教職大学院と連携した研修の高度化が一層重要になることが理解できました。次回も縁を温めにまいります。

修了生ではありませんが、タイトルに惹かれ、無料でオンライン可能だったので参加させていただきました。校長の役割がよく理解できました。2学期の観察の視点をしっかりともち、先生方を伸ばしていけるよう、実践にうつします。

来年度より始まる新たな研修システムの構築に向けて、貴重な、ご示唆をいただくことができました。

お誘いいただきありがとうございました。

この支援事業は、つば教職員支援機構が、現職教員の研修の高度化・体系化を支援し、その成果を全国に提示することで、「**学び続ける教師**」としての**資質・能力の高度化を全国的に図ることを目的とする**事業です。昨年に引き続き、**8月27日（土）に、42名の参加者**により、今年度の第1回目講座Aを開催しました。今年度は、「地域協働型リーダー養成研修」として、教員研修の自律と協働型研修による学びを通じた学校支援を目的とし、8月と12月に2講座を開講します。テーマは、『令和の日本型学校教育を担う教員の新たな研修システム構築』とし、**講座Aでは、新たな研修システムと職能開発における管理職の在り方**について、**講座Bでは、インクルーシブ教育時代の学校経営におけるリーダー養成と研修組織デザイン**について、松山市教育研修センターをはじめ、県内各地域からの参加者がディスカッションする協働型研修です。

第1回目の講座Aでは、東京学芸大学教職大学院の齋藤嘉則教授をお迎え、「**学びがいと働がいと**」、**研修促進に向けた管理職の役割と具現化**について、まず、講話を聴きました。それを受けて、地域や職種の混合グループにおいて、研修の現状と課題、事例紹介などのディスカッションで互いの意見等をアウトプットしました。さらに、後半では、齋藤教授、愛媛県総合教育センター企画開発の石崎室長、本学教職大学院専攻長の露口健司教授による対談を通して、**今後の研修システムの構築に向けて、教師自らの学びのマネジメント、研修履歴を活用した管理職の対話と推奨**等について、理解を深めました。**学校管理職の世代交代、ミドルリーダー養成等、管理職養成及び学校組織開発の必要性**がこれまでにない重要課題となっている今、参加者にとっては、大変意義深い研修となりました。また、**久しぶりに大学院修了生が研修会に集い、県内教員を巻き込みながら学びがいを実感する貴重な週休日**となりました。研修後のアンケート結果からは、2学期からの実践課題を持ち帰っていただくことができたことが、分かります。

4 今後、校内外の研修において、あなたが取り組もうと考えていることは、どのようなことか。（5項目まで選択可）

36件の回答

